

「未来を生きる力」を育む総合的な学習の時間の在り方

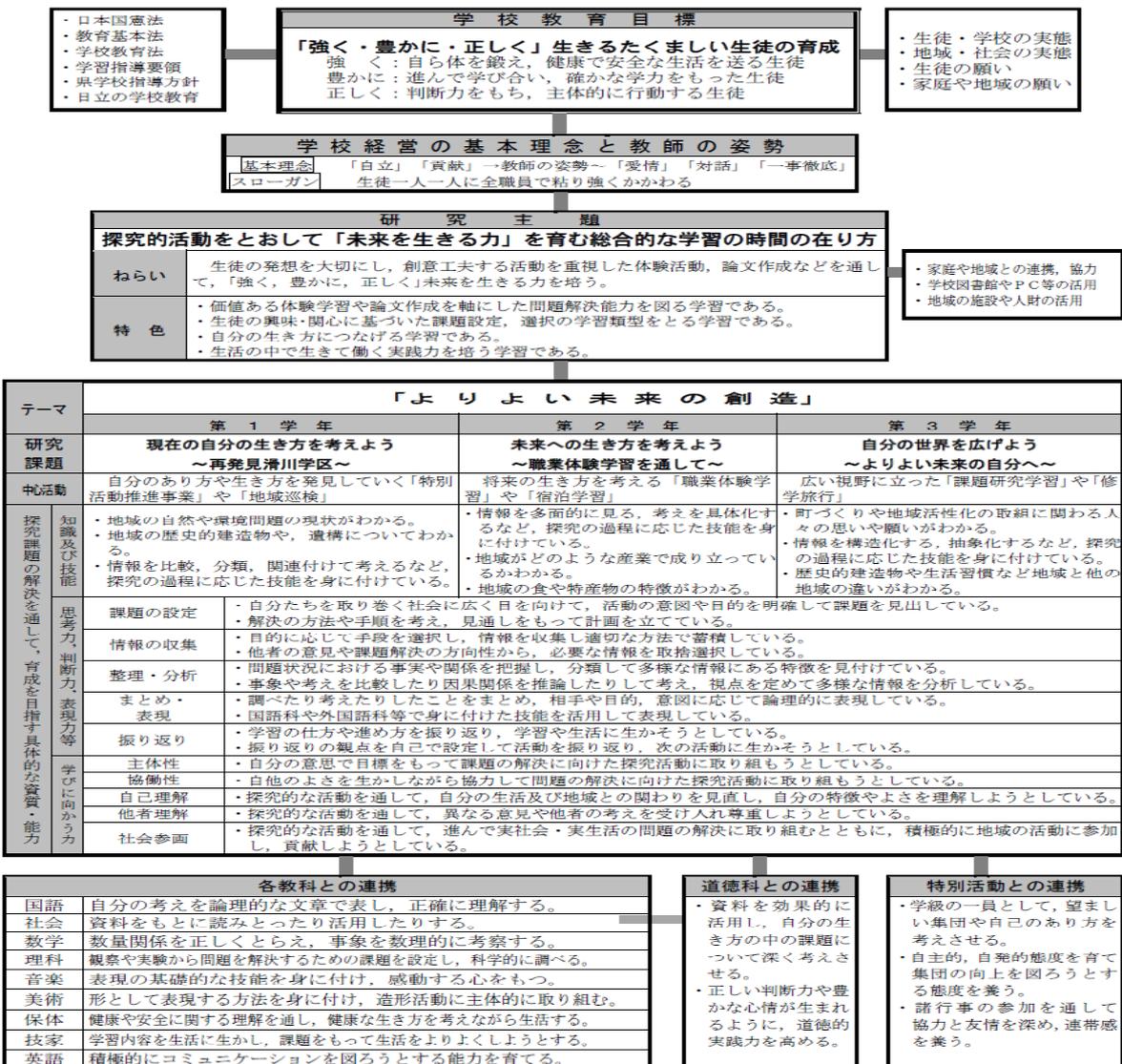
日上市立滑川中学校

1 はじめに

本校では『「強く・豊かに・正しく」生きるたくましい生徒の育成』の学校教育目標の実現に向けて、各種教育活動を展開している。総合的な学習の時間では『「未来を生きる力」を育む総合的な学習の時間の在り方』を研究主題に取り組んでいる。生徒の発想を大切にして、創意工夫する活動を重視した体験活動や、論文作成などを通して、「強く・豊かに・正しく」未来を生きる力を培うことをねらいとしている。

各学年のテーマは、第1学年が「現在の自分の生き方を考えよう～再発見滑川学区～」、第2学年が「未来への生き方を考えよう～職業体験学習を通して～」、第3学年が「自分の世界を広げよう～よりよい未来の自分へ～」となっている。今回は、第1学年で実践してきた内容でテーマに迫りたい。

令和元年度「総合的な学習の時間」全体計画



2 実践事例

(1) 単元名 「再発見！滑川学区」（第1学年）

(2) 単元の目標

- ①自分たちが住む地域やそこで生活する人々に関心をもち、地域から多くのことを学ぼうとする意欲をもつことができる。
- ②地域巡検をする中で、地域の歴史に触れたり、問題点を見つけたりすることで、地域に対する自分の考えを深めることができる。
- ③自分の課題を追究するために適切な体験活動、調査活動を行い、学んだことを自分なりに表現することができる。
- ④活動を通して、地域に貢献することの意味や地域を支える存在としての自分を高めていくことの大切さを知り、自分の生き方を創造することができる。

「総合的な学習の時間」第1学年単元配当及び評価規準表

日立市立滑川中学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
⑤ 心ゆたかな体験学習プラス（15時間）	①総合ガイダンス ②班編成・係分組	③班別行動・学級別行動計画 ④しおり作成	⑤事前指導 ⑥活動のまとめ									
⑥ 地域巡検（38時間）				①事前アンケート		②ガイダンス ③「地域」を知ろう	④グループの編成 ⑤個人のテーマ決定	⑥地域巡検の振り返り	⑦地域巡検のまとめ ⑧レポート作成	⑨学習のまとめ		
⑦ 進路学習（12時間）										①事前アンケート	②職業調べ ③働く人の話を聞く会	④学習のまとめ ⑤次年度の計画
評価	主体的・創造的態度	年間活動計画をつかめたか（観察・ファイル）	自ら設定した課題に体験を通して迫ることができたか（観察・活動計画表）	自分たちが生活する滑川学区に関心が持てたか（ファイル）	校	グループ活動や調べ学習に意欲的に取り組めたか（観察）	グループ活動に積極的に参加できたか（観察・態度）	自己の責任を果たし、活動に合った活動ができたか（観察・態度）	将来の夢や中学生活後の進路について自分の考えをもてたか（感想・ファイル）	グループの話し合いや発表を自主的に行えたか（発表・観察）		
評価	イ 思考・判断・表現	体験学習について自分なりの関心や目標を持てたか（発表・観察）	グループのねらいが即した活動計画を立てられたか（活動計画表）		研	自分にできることについて考えを深められたか（ファイル・発表）	課題に対して調べ方や立案で取り組めたか（観察）	施設との交渉がうまくいったか（観察）	自分の役割と活動のねらいをつかむことができたか（発表・感想）	活動を反省して自分のできることを見つけたか（発表・感想）	自分の調べたい職業を見つけたか（ファイル）	
評価	ウ 技能	計画・準備の段階で自分の意見を持ち、発表できたか（観察・発表）	体験学習への思いがしおりや活動計画表に生かされたか（しおり・計画表）	活動の様子を作文や掲示物等で楽しく表現できたか（発表資料）	修	情報や資料の収集を工夫し、課題に迫る発表内容や掲示物が作成できたか（発表・態度、掲示物）	自分の考えを大きくわかりやすくまとめることができたか（発表・態度）	表現方法を工夫し、わかりやすくまとめることができたか（発表・作品）		声の大きさを意識し、発表の場を盛り上げたか（発表・態度）	柱の発表を聞き取り、自分の考えを深められたか（発表・ファイル）	
評価	エ 自己の生き方	安全・健康に留意した集団のルールづくりができたか（観察・態度）	集団行動のルールを守り、他の文化や自然に触れられたか（ふり仮りカード）				友達とのよさを意識し、ふり仮りカードができたか（観察・ふり仮りカード）	自分の生活の中で生きていくうえで大切なことを見つけたか（作品・感想）	将来に向けて自分の生き方について考えたか（作品・態度）	卒業後の進路について自分の考えや目標が持てたか（作文・態度）		

(3) 単元設定にあたって

本校の第1学年では、自分たちの住む地域をもっと広い視野で見直すことをねらいとして、「地域巡検」を中心的な活動として設定した。ねらいの1つは地域の歴史に触れることである。実際に、1年生95名を対象としたアンケート結果でも、「滑川学区に古墳があること」を知らない生徒が82名と大部分を占め、地域の歴史的遺構を実際に観察する体験は貴重なものであると考えた。また、同じアンケートで、「滑川学区で生活していく上での問題点」を具体的に記述できない生徒も77名と多かった。そこで、滑川学区の特徴に目を向けるために、地域巡検中は、「環境」や「自然」、「産業」などの視点から、地域を観察することも課題とした。生徒にとって、日頃自分たちが生活している地域について再認識し、地域とともに生きる滑川中生徒を目指していく単元とした。

(4) 学習計画等

① 学習計画

- 10 / 25 (金) 地域巡検事前学習① (巡検希望コースに関するアンケート調査)
- 11 / 8 (金) 地域巡検事前学習② (巡検コース・巡検グループの決定)
- 11 / 15 (金) 地域巡検事前学習③ (目的地に関する調べ学習1)
- 11 / 22 (金) 地域巡検事前学習④ (目的地に関する調べ学習2)
- 11 / 29 (金) 地域巡検学習 (2時間扱い)
- 12 / 2 (月) 地域巡検のまとめ① (地域巡検新聞作り)
- 12 / 6 (金) 地域巡検のまとめ② (地域巡検新聞作り)

② 地域巡検当日の計画

ア 日時 11月29日(金) 5・6校時 小雨決行

イ 課題

- ・滑川学区の歴史や現在の様子を調べ、地域の良さや課題をとらえよう

ウ 巡検コース

- ・Aコース 旧街道のおもかげを見つけよう (度志観音道標→六地藏→塩竈神社)
- ・Bコース 仏ヶ浜を調べよう (度志観音道標→度志観音)
- ・Cコース 地域の歴史の流れを感じよう (滑川浜古墳→太田尻海岸→津ノ宮公園)



【度志観音道標】



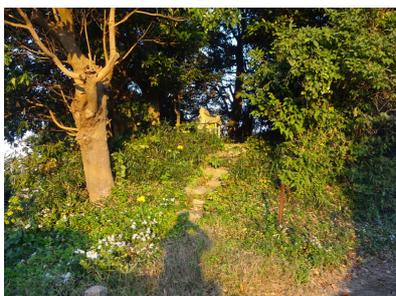
【六地藏】



【塩竈神社】



【度志観音】



【滑川浜古墳】



【津ノ宮公園近くの西行法師歌碑】

③ 地域巡検の日程 (11 / 29 (金))

- 13 : 00 準備
- 13 : 15 昇降口前に集合 直前指導
- 13 : 25 学校発 巡検開始
- 15 : 25 巡検終了 学校着

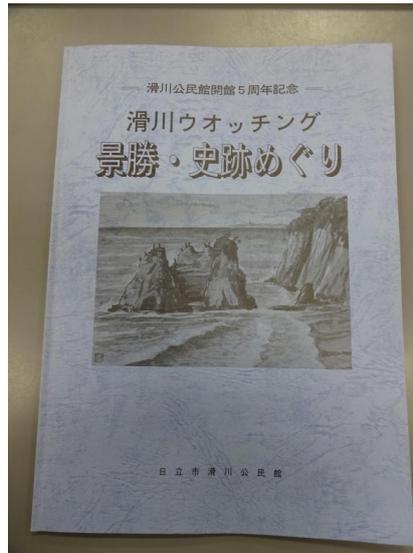


【度志観音での巡検の様子】

(5) 活動の前後について

① 各種資料の活用

地域巡検の目的を達成するために、巡検の目的地の情報を収集する活動は欠かせないものである。しかし、地域巡検の目的地として設定したそれぞれの歴史的遺構は、インターネットや一般の書籍から情報を収集することが難しい。そこで、日立市滑川公民館が発行



地域巡検のみどころ

本日の地域巡検は「滑川中学区の史跡」を巡ります。

1 滑川浜古墳

滑川の浜のほとりにある古墳。古墳の上部まで階段が設けられている。上部には緑（墓石）がある。円形古墳と見られる。



2 滑川横穴群

この北側の壁に穴が穿ってある。現在は危険防止のためコンクリートでふさがれている。穴は単独で存在することは稀で、おおよそ複数からなる横穴群を構成する。太平洋沿岸では、彩色が施されたものもみられる。

3 田尻浜古墳群

滑川からなる古墳群となっている。円形古墳、人物造像が並んでいる。一般見学も可能。面積17mほど。墳中にある小高い所も古墳と思われる。墳中の良い場所がある。



4 穴地蔵

地蔵とは、六道に迷い、苦しむ人々を救う仏様です。塚上に地蔵菩薩、横穴に土師地蔵。塚上には宝印地蔵、横穴に持地地蔵。人間道に釈迦尊地蔵、そして天上道に光地蔵の八体の地蔵様です。しみやまいとうに彫像をしていますが、それぞれの持ち物違っています。



5 塩釜神社

村社で昔は八所明神といわれていたが、明治6（1873）年に塩釜神社と改められました。祭神は塩土御奈（しおつきのおきなのみこと）で、その他田原など、名前の由来も知られていません。元は天正13（1585）年、友部山の戦で（徳川の十士の家士等が）鹽釜型の塩釜神社（宮城県）の神を分霊して興したといわれます。この地域内には、北野神社など6つの祠も祭られています。



している『滑川公民館開館5周年記念＝滑川ウオッチング景勝・史跡めぐり』や、職員が事前調査の際に撮影してきた写真と、複数のインターネットサイトから少しずつ集めた情報をまとめて作成した『地域巡検のみどころ』などを活用して生徒による事前調査に活用した。

② 地域巡検のまとめ

巡検終了後は、巡検新聞を作成する形で、まとめを行った。生徒は、巡検で見学した内容について、写真や図を活用してまとめることができた。その際、巡検の目的地についてまとめるばかりではなく、「海はきれいだったが、海岸には、今問題になっているプラスチックゴミがたくさん落ちていた」と記述したり、実際に落ちていたゴミを拾いながら歩いてきたりした生徒もいた。地域について理解を深める第1歩となった。

また、生徒が作成した巡検新聞は廊下に掲示し、自分が行かなかったコースについても理解を深められるようにした。



【地域巡検新聞】

3 成果と課題

(1) 事前の調べ学習や地域巡検を通して、課題を探究する力が身についた。

(2) 地域を実際に歩いたり、歴史的遺構を訪ねたりすることで、地域の良さや課題を再発見することができた。

(3) 事前調査に活用できる資料が限られているうえ、巡検の目的地によっては、現地でも得られる情報も限られている場所がある。今後も第1学年で継続して実践する際には、地域人材の活用なども検討していきたい。



【廊下の掲示】